

岳連 ニュース

宝永

URL: <http://www.shizuokam.com>

静岡県山岳連盟

〒420-8076

静岡市駿河区八幡3-1-17

TEL(FAX) 054-288-7512

編集発行/総務委員会

平成30年11月19日発行

第27号



リード競技原選手

今年の国体は、宿泊地と会場が1時間ほど離れていたために、リラックスタイルというものが設定されていた。今回の特別ルールだが、計画輸送ののち、アイソクローズまでの間に競技エリア以外なら出歩いてもよいということだった。そのため、オブザベーション前に観客席から課題を見ることができた。

初日のボルダリングは、若宮がジャッジミスで降り、風が強かつたりとあまりよくなかったコンディションだったが予定より1時間遅れで競技がスタートした。そのため、今回

福井国体山岳競技会が10月4日～6日の間、池田町特設会場で開催され、成年男子チームが出場した。リード、ボルダ競技で健闘するも入賞に至らず、残念な結果に終わった。

第73回国体 福井しあわせ元気国体

は県ごとに登るのではな

く、選手が落ちたら次が登ることになり、監督からの指示、選手同士の会話は禁止となつた。時間短縮のためか、厳しめの課題になつた感があり、選手が落ちた箇所が固まつたところがある。若宮は下部で手が抜け、ここからが勝負というところ

ろされるというアクシデントがあつたが、2本完登、4ゾーンをとることができた。原は、若宮からのアドバイスを受けたが、惜しくも完登できず、1ゾーンであつた。大きなボテを使つたり、ランジする課題があつたりと、ダイナミックな動きをさせる課題が出ていた。ボーナスからゾーンへと変更になり、得点のつけ方が変わつていて、少ないトライで保持していける強さが求められた。

2日目のリードでは、台風の影響による中止も考えられていた中での開催であった。雨が降つたり、風が強かつたりとあまりよくなかったコンディションだったが予定より1時間遅れで競技がスタートした。そのため、今回

は試合前のアイソレーションを行つています。

昨年の国体からトレーナーとして帯同させて頂いています。普段は焼津市の病院で理学療法士として入院患者様を中心にして治療を行うセラピストとして仕事を行つています。



国体トレーナーとしてのきっかけは自身のクラシックな技術で県代表選手のサポートをしたいといふ思いからでした。今年の福井国体での活動内容は、スポーツマッサージ、テーピング、アイシングなど試合開始前後に行なうことが主でした。

結果として成年男子はボルダリング・リードと予選敗退という成績に終わつてしましましたが静岡県の代表としてこの日のために身体を調整し、全力で競技に望んでくれましたと感じています。これからも選手のサポートにトレーナーとして関わ続けていかなければと思つています。

(トレーナー稻垣裕介)

まつた。原はうまく登れていが、周りが落ちたところを抜けられず、20位の位置であつた。成年男子はレベルの高い選手が多く出場しているので、選手のサポートをどうやっていくか、考

えたい。

(成年男子監督岩田幸裕)

選手のパフォーマンス向上に活躍

福井国体トレーナー

まつた。原はうまく登れていが、周りが落ちたところを抜けられず、20位の位置であつた。成年男子はレベルの高い選手が多く出場しているので、選手のサポートをどうやっていくか、考

えたい。

今回の競技順は46番中30番台と全体の競技開始からアイソレーション内に3時間以上待機しての試合となつたため選手の集中力や緊張感、ウォーミングアップを行うタイミングなどバラバラであり身体的コンディイションの他にメンタル面でのコンディションを行います。スポーツマッサージは試合の前夜は毎晩行ない翌日への疲労回復につとめるようになります。テーピングは試合前のアイソレーションを行つています。

シヨンを伺い、ホテルの部屋にて試合に向けて筋肉に対するストレッチマッサージを行います。スポーツマッサージは試合の前夜は毎晩行ない翌日への疲労回復につとめるようになります。テーピングは試合前のアイソレーションを行つています。

シヨンを伺い、ホテルの部屋にて試合に向けて筋肉に対するストレッチマッサージを行います。スポーツマッサージは試合の前夜は毎晩行ない翌日への疲労回復につとめるようになります。テーピングは試合前のアイソレーションを行つています。

シヨンを伺い、ホテルの部屋にて試合に向けて筋肉に対するストレッチマッサージを行います。スポーツマッサージは試合の前夜は毎晩行ない翌日への疲労回復につとめるようになります。テーピングは試合前のアイソレーションを行つています。



エルブルース峰

ヨーロッパ大陸最高峰 ロシア山岳連盟との交流登山 エルブルース峰登頂

2018年8月、静岡県山岳連盟海外委員会では、ロシア山岳連盟との交流登山をロシア南部、カフカス山脈のエルブルース峰(5642m)で行いました。

本遠征は日本山岳スポーツクラブイミング協会が窓口となり実現したもので、地方組織の山岳連盟としてロシア山岳連盟との交流登山は初めての試みとなりました。

参加者は公募で募り、海外委員長で隊長の出利葉義次(静岡EXPクラブ)、副隊長の工藤誠志(富士宮山岳会)、隊員

の木村秀子(静岡EXPクラブ)、鷺山久(静岡ケルン山岳会)、渡邊悦男(静岡しみず山の会)、石川貴大(浜松労山)、奈良康永(無所属)で、計七名の登山隊となりました。

出発に際し、ロシアスコット省の招聘査証が取得出来ず心配しましたが、ロシア山岳連盟の働きかけでロシアオリエンピック委員会から招聘査証を

11日の休養日は周辺トクレッキングを行い、12日はロープウェイ、ゴンドラを乗り継ぎ、3800mのガラバシの山小屋に入り、13日は強風でした



山頂記念撮影

14日は休養日でしたが、希望者は周辺トレッキングを行い、残組はお土

日間かけ最寄のミネラリエボディ空港、そこから車で5時間程で麓のテレスコル村、登山基地アザウのホテルに入りました。

8月9日から19日の11日間の日程で、受け入れ窓口はロシア山岳連盟役員でサンクトペテルブルグ在住イリーナ・モロゾヴァさん、現地では地元山岳連盟役員でガイド資格を持つ女性のガリーナ・クハレバさん、男性のディミトリ・コブルスキイ氏に出迎えられ、この二人と行動と共にしました。経路は成田からシベリア航空でイルクーツク、モスクワと経由して、二

度を稼ぎました。

16日午前一時頃、雪上車を降りた場所から、ヘッドライトの灯りを頼りに急斜面をアイゼンを利かせて登り、空が白み始めた頃、西峰と東峰のコルに達しました。しばらく休憩して、主峰西峰の急斜面をゆっくりと登り始めた頃には夜明けを迎えた。

モルゲンロートに続き眩いばかりの太陽の日差しに照らされ空は快晴、感動のひと時でした。

17日は休養日でしたが、希望者は精力的に周辺トレッキング楽しめました。

ゆっくりと時間をかけ下山を続け、コルから雪上車を降りた地点まで下りた段階で、出利葉は奈良と共にスノーモービルでガラバシまで先に下山、他の隊員が下山して来るのを待ち、全員揃つてゴンドラ、ロープウェイを乗り継ぎアザウのホテルに戻りました。

最後に、高所登山としてはメジャーな山ですが、ヨーロッパ大陸最高峰エルブルース峰に全員登頂成功できたことは、天候も恵まれ幸運だったと思います。初めて海外登山を経験した隊員は貴重な体験ができたものと思います。この経験を次の海外登山に繋げてもらえば幸いです。

(文責 出利葉義次)

その頃には遅れて出発したガリーナさん、ディミトリーさんと一緒にいました。西峰の頂稜は広く、ゆるやかな斜面が山頂まで続き、周囲の景色を眺めながらの登りでした。

18日朝、アザウのホテルを出発、ミネラリエボディ空港に向きました。周囲の景色を楽しみながらの車中となりました。

第12回スポーツ登山大会

歴史と文化の京丸山・秋葉山を舞台に開催

第12回しずおかスポーツ
ツフェスティバル登山大

会が「山の日」記念行事として、10月27日～28日に県西部の京丸山と秋葉山を会場として開催された。一泊の京丸山には31名、日帰りの秋葉山には29名の参加者があった。



京丸山は、幕営地に藤原家を利用しても歴史と文化を色濃く

登り山頂に立つ。神社では全員御祈祷を受けると宝物殿を見学した。両山

とも歴史と文化を色濃く登り山頂に立つ。神社では全員御祈祷を受けると宝物殿を見学した。両山

とも歴史と文化を色濃く登り山頂に立つ。神社では全員御祈祷を受けると宝物殿を見学した。

感じた登山大会となつた。

【京丸山コース】

今大会は京丸山の登山と藤原家の利用が出来る事もあり、多くの参加者が会場である春野町石切の「みやま会館」に集合した。

前日の心配した雨も回復して、晴天の中、開会式が行われた。その後、各班に分かれ藤原家に向かって出発した。みやま会館から藤原家までは林道を2時間30分ほどの歩き。

藤原家に到着すると、南北朝の流れを汲む建物に歴史を感じながら各グループ、夕食を準備して次の日に備えた。

翌28日は4時に起床する。すると5時30分、ヘッドライトを灯して京丸山山頂に向けて出発する。出発から30分ほど歩いた所で、山の神に到着。更に40分ほど林道を登つていて、展望台に着く。天気も良くな、ここから広がる岩岳山から高塚山へと続く山並みの景観を堪能する。

林道終点をすぎて山道に入り、紅葉の始まつた樹林帯を1時間ほど登ると京丸山山頂に到着した。昔あつた笹や下草は綺麗に無くなり、明るい樹林と成つた山頂での景色を見ながら休憩を取る。

ひと休みした後、下山を開始。山の神からは短縮下山道を通り林道へと降り、ゲートを抜け再び「みやま会館」へと到着した。

今回、参加者全員が安全登山に努めていただき、無事に登山する事が出来ました。ありがとうございました。(JR東海浜松工場山岳部 相川雄一)

【秋葉山コース】

目的地は浜松市春野町に鎮座する「秋葉山」火伏の神社と知れた秋葉神社があるところです。標高885mの気軽に登れる山で、信者はもちろん一般の方も大勢登ります。

今回は天気に恵まれ、真っ青な空のもと、総勢50名ほどの方たちと楽しむ登ることができました。

登山道は参道ですので、道幅は広く整備もされていて気持ちよく登れました。常夜灯があつたり昔の茶屋跡で休んだり秋葉

入り、紅葉の始まつた樹林にかけて台風24号の被害にあつた倒木があちこちに無残な姿でまだ放置されっていました。中には樹齢400年の木もありました。昼食後、御祈祷していただいたり宝物殿を見学させていただきまし。また、貴重な体験ができた山行でした。

寺(三尺坊)を見学した後、歴史を感じながら緩やかな道を歩きました。東部地区や中部地区から来た方たちとおしゃべりしながら2時間ほどで秋葉神社に到着しました。

秋山の醍醐味を存分に味わうことができた登山フェスティバルでした。参加した方々もとても喜んでいました。皆さん、有難うございました。

(袋井山の会 田中孝子)



第19回高校クライミング競技大会

第19回静岡県高等学校クライミング競技大会が、第9回全国高校学校選抜クライミング選手権大会との予選を兼ねて、11月3日に、スクエアクライミングセンターにて、6校

20人(男子15、女子5)の生徒が参加して行われた。今年も高体連の理事長が観戦する中、熱戦が繰り広げられた。

女子の予選は、最上部に核心のあるルートで、横田さん唯一完登した

男子は、メイン壁の左側を真っ直ぐに進むルートでホールドが遠くやボルダチックな部分のあるルート(12b c)で、完登したのが、片桐、赤池の両名でタイムで片桐君の優勝となつた。

大会の結果、男女とも3名(学校団体枠1名を含む)が全国大会に駒を進めた。また、今大会はクリップ飛ばしで競技終了となつたのが3名おり、今後の課題となつた。会場を提供をしていただけたスクエアさん、セットを担当していただいたピナクルの瀧浪さん、および運営に協力して下さった多くの方々に感謝申し上げます。

全国大会出場者は以下の通り。

男子1位 片桐綾真(浜松工業) 2位 赤池俊哉(浜松日体)

女子1位 中尾もも(浜松日体)

女子2位 宮道陽奈(浜松日体)

女子3位 金澤恒明(浜松日体)

女子4位 井内千裕(浜松日体)

(諸戸明)

千載一遇の御嶽山、剣が峰に歓喜

秋の登山教室



秋の登山教室の御嶽山登山を山小屋泊、食事は自炊という企画で10月6日～7日、7名の参加者を得て実施した。

「なんたることだ。台風が居る期間だけを狙つて登りに行くのではない。」30分おきに携帯の気象予報アプリを眺めつつ、我が身のあまりの不幸を嘆いた木曜日…。

今年の秋の登山教室から責任者を引き継ぐことになつたが、そのあまりのタイミングの悪さに前田中前理事の選定日を恨んだものである。とはいっても、今年で4回目となる秋山登山教室を断つ、我が身のあまりの不幸を嘆いた木曜日…。

そんな中、9月26日の事前座学にもどうしても遅れざるを得ない状況…。この時、同じ指導委員会の仲間が「座学の受付と進行役」を買って出てくれた。東京勤務の私にとても感謝してもしきれない支援であつた。なんと少し一層強くなつた。

そしていよいよ運命の大台風25号が日本海沿岸を北東に進む進路で近付いて来ていた。土曜日の夕方から明け方までが山場のようだ。これなら、山頂の山小屋でやり過ごすことが可能だ。

冒頭の記述のとおり、大型で強い勢力の台風25号が日本海沿岸を北東に進む進路で近付いて来ていた。土曜日の夕方から明け方までが山場のようだ。これなら、山頂の山小屋でやり過ごすことが可能だ。

日、10月6日～7日、「御嶽山」の決行日を迎えた。



そんな中、9月26日の事前座学にもどうしても遅れざるを得ない状況…。この時、同じ指導委員会の仲間が「座学の受付と進行役」を買って出てくれた。東京勤務の私にとても感謝してもしきれない支援であつた。なんと少し一層強くなつた。

6日（土）は、曇つてはいるものの雨はない。登山口の濁河温泉小坂登山口（標高1780m）で各自が持ち寄った食材、足、腰、手をしつかり伸

ばしてから、6月の集中豪雨で閉鎖された旧コースゲートを横目に新ルートから登り始める。8時30分。旧登山道上の橋が流されて新たに作られたルートだが、針葉樹の林の中、路面がふかふかして気持ちがいい。途中から旧ルートに合流し湯の花峠到着、早くも200mを超えた。途中、風が強まる中、今日の宿泊場所である五の池小屋（標高2800m）に全員無事に到着した。16時。

外は生憎の天気だが、改築された小屋の雰囲気は抜群。今にもクラッシャーが流れきそうだ。スマートチーズとビールでストレッチ体操を行い、でストレッチ体操を行う、

登山口そばの「元湯朝日荘」のかけ流しの湯につかり、二日間の汗を流した。台風接近でやきもきしたが、けが人もなく、ほぼ予定通りのスケジュールで、今年の秋の登山教室を終えることが出来た。

下山は五の池小屋経由で、来た道をひたすら戻る。途中思い出したように降る雨に濡れながらも、無事濁河温泉小坂登山口に15時についた。結びは講師のとつておきの講和であつた。



翌7日は、いよいよ山頂アタック日である。ホツトケイのおしゃれな朝食を済ませ、ガスの中、ガスの中、全員登頂の喜びにした。9時15分。

4年ぶりに開通された剣が峰までの登山道。しきりに進路を取り始めていた。途中思い出したこと気に気付いたため、それほど影響はないので、と甘い期待を寄せた。

それでも影響はないので、と甘い期待を寄せた。

それでも影響はないので、と甘い期待を寄せた。

食を済ませ、ガスの中、山頂剣が峰を目指して出発（7時30分）、台風一路好転が期待されたが、それほどではない。賽の出来た。しかも数日前より僅かだが台風は北寄りに進路を取り始めていた。

かし通行できるのも、翌8日12時まで。千載一遇のチャンスをつかんだ受講生全員も大満足そうであつた。



(加藤敏美)

山岳会紹介

中遠登山クラブは1995年1月に発足した山岳会で、発足当初は5人でしたが、数年で15名程度となり、その後も同様に推移しております。

高齢化が進んでおり、当初は岩・氷壁・沢・雪山が活動の中心でしたが、現在では日帰りハイキングや小屋泊まりの比重が高くなっています。

山行の形態は春・夏・冬の合宿と月例山行を実施。冬と春の合宿は子供・孫の帰省とかち合い、又多少ハードという事もあって、敬遠され参加者は2~3名で推移しております。一方夏合宿はお盆の時期を避け、縦走又はハイキング主体としており、参加

者も7~8名と多くの参加者がおります。昨年は山形朝日岳縦走、今年は秋田駒・森吉山と多いに楽しんで参りました。それ以外の山行は毎週誰かが企画し、ハイキング・岩・沢・縦走と個人山行(単独ではありません)が実施されております。半数程度の方が月3~5回

中遠登山クラブ

会長

新村幸雄

変更と

県岳連西部の中で加盟団体は3団体まで減少しており、これ以上減らしたくありません。どうぞ皆さんのご支援を頂き、何か頑張って行きたいと思つております。

現在の課題は秋のスポーツフェスティバルを成功させることです。今年は藤原家に泊まつて京丸山と日帰りの秋葉山(山頂の秋葉神社上社でご祈祷を受け、宝物殿見学も含む)です。この一年の準備努力を何としても実行しております。

そんな中で紹介したいのは40歳と50歳半ばの女性二人を中心とした。女子は、5番壁に

小学生が初入賞

平成30年度 選手強化を目的としたクライミングコンテスト9月大会は9月17日にスクエアクライミングセンターにて、トップロープの参加者を含め、59名が参加を得て実施された。男子のリードの予選は、メンズセントラル部をダイナミックに登る12b~cのルートで鈴木音生、片桐綾真



引かれた12aのルートで最後の細かいホールドを得て、6位までが決勝に進んだ。女子は、5番壁に完登し、5位までが決勝に進んだ。男子決勝は、永嶋美智華と中里溪夏が完登し、5位までが決勝に進んだ。女子決勝は、片桐が続いた(12d)。鈴木が優勝、2手差で女子決勝もメイン壁に抜ける長いルートで、2位集団から2手伸ばした永嶋が優勝した(12b~c)。

優勝の両名は、全国大会

南アルプス写真展

山の日記念行事として実施された、南アルプス写真展を2日目の11月7日に見学してきました。場所は静岡市役所にある「静岡市民ギャラリー」第2展示室で期間は11月



6日~11日まで展示時間は午前10時~17時、最終日の11日は~16時で終了する。展示ブースは主催4団体毎に、趣向を凝らして展示されていた。展示ブースは主催4団体毎に、趣向を凝らして展示されていた。

静岡市山岳連盟では8点にプラス南アルプス南部のリニア中央新幹線の「南アルプストンネル」予定地を航空写真でいろいろな方向から移した提案写真が印象的でした。

最後のブースは県山岳連盟と井川地区の共同展示では25点、合計で120点と予想以上に多くの作品数で驚いた。



展示されている写真的点数は・日本山岳会静岡支部のブースでは55点、勤労者山岳連盟では31点、静岡市山岳連盟では8点にプラス南アルプス南部のリニア中央新幹線の「南アルプストンネル」予定地を航空写真でいろいろな方向から移した提案写真が印象的でした。

最後のブースは県山岳連盟と井川地区の共同展示では25点、合計で120点と予想以上に多くの作品数で驚いた。

また入場者は初日は20名が見学されたとのことです、また市民ギャラリーでは、写真、絵画など全5ヶ所の展示場でいろいろな団体が展示を行つて、見学者がかなり多いように感じられました。

(坂田昇)



南アルプス夏山相談所開設

南アルプスの夏山相談所が、7月14日から9月2日までの51日間、畠薙臨海駐車場で開設された。

県遭対協からの要請により、県岳連から指導員を派遣し井川山岳会の会員と静岡市岳連の会員と共に、登山者の相談、指導及び、天候や登山道の状態などの情報提供を行い、安全登山の一翼を担つた。

今年の夏山は、天候が不順で特にお盆前後が雨の日が多くった。中高年の登山者が多いため、天候が悪いと登山者は極端に少なくなった。

この期間に入山したのは2665パーティで、

日時	平成30年9月3日 (月)
会場	静岡労政会館5F
出席者	滝田博之、前川朝夫、木ノ内高嘉、出利葉義次、豊田稔、高橋弘、堀内修、望月喜久治、増田浩二、市川隆夫、鈴木修、坂田昇、兼子猛、内海廣治、加藤敏美、諸戸岳
③指導委員会	・夏山登山教室。7月21日には甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳にて実施。参加者は18

9月常任理事会

①国体委員会	(諸戸)
②海外委員会	(出利葉)
③中級セルフレスキュード研修会	(堀内)
④クライミング強化事業	(諸戸)
⑤高校総体	(清水)

①国体東海ブロック大会の予算が厳しい。2県で県大会を一緒にを行うことで県大会の予算を抑え、その分を東海ブロックに回すことも有効であり、実際愛知と岐阜はそうした。	・男女とも初出場。男子
②海外委員会	ターレで参加者が固定され
③中級セルフレスキュード研修会	てきている。
④クライミング強化事業	富士高校20位、女子藤枝東高校4位入賞。
⑤高校総体	実施する。

①南アルプス写真展	(滝田)
②安全登山サテライトセミナー	・11月6～11日に静岡市役所で開催。積極的に応募して下さい。
③「意見」南アルプスに	・展示会場に人を出す必要あり。後日お願いします。
④クライミングコンテスト	・11月3、4日に名古屋にて開催。
トを9月、11月、3月に	③「意見」南アルプスにて遭難が多発している。地元なので、静岡県山岳連盟として情報を共有すべきではないか。

①平成30年度前半行事	無事終了することができた。担当の皆様有り難うございました。
②国体東海ブロック成年女子	②他県では山岳連盟の名
③他県では山岳連盟の名	称にスポーツクライミングという語句を入れる動きがある。
④東海正副会長・理事長会議	中。まだまだ不明な点も多く、静岡県としてどのように実施していくのか相談していく必要がある。
⑤高校総体	④東海正副会長・理事長会議(木ノ内)

(記録 清水雄三)